

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
デザイン実習2 B											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	岡本 和士			実務経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
担当教員紹介											
武蔵野美術大学卒業後、家具メーカーにてデザイナーとして従事した後、2014年からフリーランスとなり、主に無印良品の生活用品のデザインに関わっている。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、CAD・CGソフト(Rhinoceros)によるモデリングの応用操作を修得します。自分のアイデアをデジタル3Dで表現する際に必要な技術と操作を理解します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つ実践的なデジタル技術を学び、理解し、身に着けるようになる。プロダクトデザインの「3Dソフトライノセラス」に関連する操作を理解し、3Dデザインをする際に必要なスキルを積極的に学び、プレゼンテーションができるようになるのがねらいである。											
到達目標											
学生がモデリング、レンダリングに取り組むことで3D・CADを応用モデリングを学び、2D作図・3Dモデリング3Dレンダリング操作の修得を目的としています。プロダクトデザイナーの仕事を理解して、デザインの現場で活躍するために必要な3Dデジタル技術や知識を向上させること、段階的にサイズ、カラー、素材の選択、仕上げをデータ上で制作し、3Dプリンターで出力可能なデータを制作するできるようになることを目標にして いる。											
授業方法											
講師からの3Dモデリングの制作技術の解説を受けます。3Dモデリングを実習を通して学ぶ授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「3Dデジタルの技術」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分のアイデアを3D表現を利用しながら、提案できるようになることを目指す。											
成績評価方法											
プレゼン	20%	製作物の発表方法、内容									
課題完成度	40%	クオリティ・提出期限厳守									
リサーチ	20%	製作準備と過程									
平常点	20%	積極的姿勢・周囲のサポート									
履修上の注意											
この授業では、基礎的な実習として、学生に3Dモデリング技術を磨き、実習を通して学びデジタルデータを作成します。授業中の私語や居眠り、他生徒への迷惑になるような受講態度などには厳しく対応する。必ずメモをとること。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席だけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。											
教科書教材											
必要な資料は授業にて配布を行う											
回数	授業計画										
第1回	導入 ライノセラス データ管理について										
第2回	基礎モデリング1-1										
第3回	基礎モデリング1-2										
第4回	基礎モデリング2-1										
第5回	基礎モデリング2-2										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
デザイン実習 2 B	
第6回	基礎モデリング3-1
第7回	基礎モデリング3-2
第8回	基礎モデリング1, 2.3 課題提出/総評 未提出確認
第9回	実測モデリング1-1
第10回	実測モデリング1-2
第11回	実測モデリング1-3
第12回	実測モデリング2-1
第13回	実測モデリング2-2
第14回	実測モデリング2-3
第15回	実測モデリング1, 2.3 課題提出/総評 未提出確認